

表 シカゴ連銀経済報告(2024年9月4日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用はわずかに(slightly)増加 賃金は緩やかに(moderately)上昇	ある金属加工メーカーは、住宅部門の需要が回復するまで採用を休止している。また、ある商工会議所の関係者は、最近の調査では組合員の最大の関心事が、労働力の確保からインフレに取って代わったと指摘した。賃金と福利厚生費は、引き続き緩やかに上昇している。
物価	控えめに(modestly)上昇	生産者物価は控えめに上昇し、関係者は今後1年間も同様の上昇率を予想した。エネルギーや原材料を含む非労働投入コストは、前期より緩やかなペースながら上昇を続けた。消費者物価も控えめに上昇したが、ある小売業界の関係者は、一般商品のインフレが鈍化したと指摘した。
個人消費	変化なし(little changed)	大手小売企業の夏の毎年恒例のセールはほぼ平均的な規模であり、ある関係者は、新学期商戦の始まりは「そこそこ」であったと述べた。しかし、ディスカウントストアや家具・家電・木材・建材部門の売上は減少した。レジャー・娯楽に関する支出については、レストランと遊園地の伸びが観光業の落ち込みで相殺され、実質的にはほとんど変化がなかった。
企業支出	わずかに(slightly)増加	トラック輸送の需要はさらに低下し、既に低い運賃をさらに押し下げた。消費財の在庫は総じて良好な水準にある。ある関係者は、小売業者の年末年始用の在庫積み増しは「慎重な」販売予想を反映していると指摘した。製造業の在庫はわずかに増加した。供給不足が発生したのは、ごく少数の例外的なケースのみで、予備発電機や変圧器などの電気機器のリードタイムが長いという関係者からの指摘があった。
建設と不動産	わずかに(slightly)減少	住宅建設はわずかに増加した。環境技術関係者は、一戸建て住宅の現場審査で多忙であると報告したが、他の関係者は大規模な集合住宅建設の需要が鈍化していると指摘した。非住宅建設活動はほとんど変化なし。関係者によると、事前予約は堅調であったが、コスト上昇により進行中のプロジェクトのかなり数が一時停止に追い込まれた。高齢者向け住宅やオフィス改装の需要は引き続き旺盛であった。商業用不動産の動きは、価格と賃料と同様、わずかに減少したが、空室率は低下した。大型工業用地の需要は鈍化したが、中型工業用地の需要は堅調であった。
製造業	横ばい(flat)	ある関係者は石油・ガス業界からの需要増加を指摘した。自動車産業では堅調な需要があり、大型トラックはわずかに増加した。金属加工品の受注は、建設業界からの需要減により控えめに減少した。
金融	変化なし(little changed)	債券価格は上昇し、株式価格は横ばいとなった。ボラティリティ(値動きの大きさの度合い)は報告期間半ばに急上昇し、同期間末にはやや高水準にまで後退した。企業向け融資の貸出残高は、建設に関連する融資に対する需要の増加が、商業用不動産融資および商工業融資に対する需要の減少によって相殺され、わずかに減少した。企業向け融資の金利はわずかに低下し、条件は据え置かれた。企業向け融資の質は低下した。消費者部門では、貸出残高は横ばい、金利はわずかに低下し、条件はほとんど変わらなかった。消費者融資の質はわずかに低下し、複数の担当者がクレジットカード・ローンの延滞の増加を指摘した。
農業	農家所得の見込みは引き続き低下 (continued to decline)	果実と温室の収益は平均を上回っている。畜産業は飼料コストの低下の恩恵を受けた。牛の価格はいくらか下落したが、歴史的な水準に比べれば依然として高い。乳製品と卵の価格は上昇したが、豚の価格はわずかに下落した。農作物価格の低迷と高金利を背景に、生産性の低い農家では財務的なストレスが高まると予想される。
地域社会の状況	経済活動には変化なし (saw little change)	労働市場の軟化に関する指摘が最近の報告期間よりも多く見られた。州政府からの税収に関する報告はまちまちで、平均するとほとんど変化はなかった。中小企業開発センターは、最近解雇された人々の新規事業への関心の高まりを指摘した。既存の事業者は、値上げ分を顧客に転嫁することができなくなったため、営業コストの上昇をカバーするための融資を求めた。非営利団体の代表者たちは、支援サービスに対する高い需要と収入の減少を報告し続け、一部の団体は蓄えを取り崩さざるを得なかった。社会福祉団体によると、低所得者層からの主な要望は、光熱費、食費、住居費の援助であった。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成